

国名(日本語)	<b>キリバス共和国</b>
国名(英語)	<b>Republic of Kiribati</b>



国名の由来	18世紀末、この島に上陸したイギリス海軍のトーマス・ギルバート(現地語発音キリバス)大佐の名前をとって名付けられた。19世紀末から、イギリスの支配下におかれ、第二次世界大戦中の日本軍占領を経て、戦後はイギリス領。1979年、イギリス連邦の一員として独立。
国旗の由来	太平洋から昇る朝日の上をグンカンドリが力強く飛ぶ姿を図案化したもの。日付変更線のすぐ西にあり、中央の太陽は世界で最も早い日の出を表す。グンカンドリは海を治める力のシンボルで、希望の象徴。3本の白い波は、国を構成するギルバート諸島、フェニックス諸島、ライン諸島を意味する。
1 面積	730平方キロメートル(対馬とほぼ同じ)
2 人口	約11万人(2014年 世界銀行)
3 首都	タラワ
4 言語	キリバス語、英語(共に公用語)
5 宗教	キリスト教(主にカトリック、プロテスタント)
6 豆知識	第二次世界大戦では日米の激戦地となり、クリスマス島では英米の核実験場になるなど、大国の荒波に翻弄されてきた。主な産業は漁業、コプラの生産。地球温暖化で海面上昇で国土の水没が懸念され、2000年に標高3.25mの人口島に新国会議事堂が竣工した。